

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 20日

事業所名： わくわくクラブエース（新松戸校）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	・活動内容や人数でスペースを分けている	・活動内容や構成メンバーによって最大限スペースが活用でき質の高い支援の提供を目指す
	2	職員の配置数は適切である	6	1	0	・状況に応じ指導員の人数を増やす対応をしている	・安全に適切な支援を行える配置を続ける
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	1	・現状で対象者はいないが、必要に応じてスロープ等を検討する	・入口のバリアフリー化を検討していく ・段差の改善箇所を検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	0	・会議や打ち合わせと振り返りの時間を有効活用している	・引き続き全職員による意見交換と情報共有ができる場を多く作っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	・面談や送迎時に保護者とコミュニケーションが取れるよう心がけている	・アンケート調査等も活用し意向を聞く機会を定期的に作っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	・ホームページにて毎年公開している ・事業所内にも掲示している	・ホームページを確認してもらえるよう会報や手紙の発行をし周知を促す
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	4	・法人内にて情報共有を行い改善に努めている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・研修の機会を多く設けている	・事例を通じたスキル向上につながる研修を意識して増やしていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・日頃から相談しやすい雰囲気作りと対応を心がけている	・関係機関との連携や総合的な観点でのプログラムを計画していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	0	・細かく情報共有を行っている	・標準化でき、わかりやすいツールの使用を検討していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	・アイデアを出し合い、カリキュラム内容を決定している	・引き続き指導員でアイデアを出し合い、児童が楽しく取り組める活動内容を立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・季節や学校行事、感染症対策等を鑑みプログラムを考えている	・生活や児童の好みなどにも留意し、拒否が少ない形で活動に取り組めるよう工夫していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	・平日と休日で異なるカリキュラムを用意している	・今後も季節感のある活動やイベントと合わせて提供できるよう工夫していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	1	・学校行事や児童の状態を確認しながら計画実施している	・引き続き児童の特性や相性なども踏まえて、活動内容や活動の仕方なども検討して、最大限効果を出せるよう努める
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・事前ミーティングと事後振り返りを必ず実施している	・打ち合わせ時に、内容確認と合わせて、わかり得る児童の様子なども共有し、質の高い支援の提供に努める
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	・振り返りを行い改善点を確認している	・気になったことは改善点まで確認していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・日報に記載している	・日報を通じてその日に不在だったスタッフへも情報が伝わるようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		・状況に応じて支援内容や目標の変更も検討出来るようにする

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1	0	・複数の要素を組み合わせて支援している	・指導員全員が、活動の目当てや目的の詳細まで理解して支援がでているよう情報共有に注力する
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	・参画している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2	1	・保護者の希望に応じて学校とも連絡を取り合っている	・送迎サービスをおこなっていないため、学校との連携は保護者や相談支援員を通じてとなるが、ケース会議等にてさらに連携が図れるよう働きかけていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	0	・現時点で医療的ケアが必要な児童の利用はない	・必要に応じて行なえるよう検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	0	・保護者を通して共有し必要に応じて対応中	・積極的に情報共有や相互理解に努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0	・小学生が主たる利用者のため該当するケースがない	・必要に応じて行なえるよう検討していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	0	・受けている	・積極的に関係機関の研修等に参加し、交流や連携につなげるよう努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	4	・系列高校からの学生ボランティアを積極的に受け入れている	・感染症対策や安全に配慮しながら少しずつ交流の機会を増やせるよう検討する
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	・現状参加は出来ない	・情報を集め参加していけるようにする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・送迎時にその日の様子を伝えている	・質問や相談が気軽にできる雰囲気や環境作りに努めどの家庭とも情報や課題の共有ができるようにしていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	・面談・電話等で悩みや希望を聞き取りアドバイスをを行っている	・より専門的なことができるよう準備していく ・電話対応で相談も受け付けている ・ペアレント・トレーニングの実施も検討したい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	・事業所内で自由に閲覧出来るようにしている	・契約時に丁寧に説明し、変更等は書面で発信していけるようにする
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	・適宜行っている	・引き続き相談に応じていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	1		・感染症の状況を見ながら、カフェやセミナーの再開を目指す
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	・当日中に迅速な対応ができるよう心がけている	・心配や不安が高くないような対応を心がけていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	・ブログの更新や毎月の教室だよりの発行を実施している	・連絡に関してはメールも活用している ・迅速に情報を発信できるよう仕組みを整えていく
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	・法人内規定に則して管理している	・引き続き継続していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		・イラスト活用や話し方情報量等を工夫し対応していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3	・積極的には行っていない	・地域向け行事を検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0	・教室に掲示している	・保護者への周知にも力を入れていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・年3回の訓練を実施している	・訓練の日程について保護者・児童が把握出来るようにしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	・年1回必ず実施し、全職員が受講している	・研修と合わせ日々の振り返りでも気になることを伝え合えるよう確認していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	・契約時に説明をし了承を得ている ・必要がある場合には計画書に記載をする	・契約時に説明をしておき、必要性が出た場合に速やかに対応出来るよう準備しておく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3	0	・保護者からの申し出により把握をしている	・保護者への確認は必ず行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	・報告書を専用ファイルで保管し閲覧出来るようにしている	・会議等で事例の共有もしていく